

News Release

2018年3月14日
株式会社日立製作所

日立レールイタリア社がコペンハーゲンメトロ向け 自動運転鉄道車両 8 編成(24 両)を受注

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)の鉄道システム事業におけるグループ会社である日立レールイタリア社(CEO:モーリツィオ・マンフェロット)は、このたび、デンマーク王国とコペンハーゲン市、フレゼクスベア市が共同で運営する Metroselskabet 社(以下、メロセルスカベット社)から、コペンハーゲンメトロの M1/M2 線向けに、自動運転鉄道車両 8 編成(24 両)を 5,000 万ユーロ(約 65 億円)で受注しました。

日立レールイタリア社は、2002 年以降、コペンハーゲンメトロの M1/M2 線向けの 34 編成の自動運転車両をイタリア共和国で製造し、納入した実績があります。また、2019 年に開業を予定している新路線の環状線向けに、39 編成の自動運転車両を納入します。

今回受注した 8 編成の車両は、2020 年までに納入する予定です。鉄道利用者数の増加に対応するために、広い乗車スペースを確保するレイアウトで設計されています。なお、車両の信号・通信装置などについては、アンサルド STS 社が供給します。

日立レールイタリア社 CEO モーリツィオ・マンフェロットのコメント

本契約を締結できたのは、当社が、乗客にとって快適・安全で信頼性の高い製品やサービスを、お客さまに提供し、円滑な運行サービスに貢献していることの証です。当社は今後も、お客さまと強固で長期的な信頼関係を築いていきます。

日立レールイタリア社 COO ジュゼッペ・マリーノのコメント

当社の車両は、製造部門の技術力と経験により、グローバルに競争力を有し、高い実績をあげています。今後も継続的な投資により先進的な製造技術を取り入れて、生産性を高めていきます。

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
